

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	陶磁器デザイン	2	3, 4	セラミック	選択	なし

1. 学習の到達目標

セラミックに関する基礎的技術を陶磁器に関する装飾技術によって体験させ、陶磁器デザインへの興味・関心を高め、意義や役割を理解させるとともに、広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。陶磁器のデザインをするうえで必要なデザイン力や、陶磁器成形に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に創造し応用する能力と態度を育てる。

2. 学習の評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	加飾技術に関する基礎的な知識や取り扱い方を身につけているか。 制作時に用いる道具を的確に使用できているか。 隅々まで神経を使い、課題制作を行っているか。 課題の達成にふさわしい技術・技能が発揮されているか。	作業進行の手順が適切であるか。 課題が適切に制作されているか。 基本的な知識、技術を活用し、一連の作業を進めていく能力を身につけているか。	授業にふさわしい服装であり、心構えが適切か。 授業態度が良好であるか。 課題の製作手順が妥当で課題が期限内に提出されているか。 掃除などが適切になされているか。
評価の方法	授業態度、学習の取り組み状況、課題・制作品などの提出物の状況などを総合的に判断して評価します。		

3. 教科からのメッセージ

1年間で伝統的な地紋の描画方法、陶磁器への加飾技法の実習（生素地への彫刻、素焼き素地への絵付け）を学習します。また、授業を通じてセラミックの基礎的な知識、技術を身につけることができます。作業を進める上で効率よくできるように自分で工夫し行動しよう。自分で計画し制作、完成させるという行程を進めていくことで、ものづくりのすばらしさを感じ、デザイン技術への興味・関心を深めましょう。

年間指導計画 科目名 陶磁器デザイン 2 単位 3, 4 学年

学期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
前 期	4	地紋の作図	●地紋の描画方法
	5		①各種地紋の作図方法を習得する。
	6		②全員異なる地紋を選択し、作図する。
後 期	7	下絵付け	●平皿へ下絵付け
	9		②においてできた作図をもとに、下絵付けを行う。 図案を器に写す作業と道具の使用方法を理解する。
	10		●六寸皿へ上絵付け
後 期	11	上絵付け	下絵付けにおいて習得した技法をもとに、上絵付けの技法を学ぶ。
	12		図案は、鍋島文様、今右衛門様式の図案を見本にする。
	1		
	2		
	3		